

年間授業計画

足立東 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭

科目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：A石井・B松岡）（2組：A石井・B松岡）（3組：A井上・B松岡）（4組：A石井・B松岡）（5組：A石井・B松岡）（6組：A石井・B松岡）

使用教科書：（ ウェルビーイングにつなぐ 家庭総合（教育図書） ）

教科の目標：

- 【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生活の問題や課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて論理的に解決策を構想し実践するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働し、よりよい社会の構築のために、生活文化の継承、自分や家庭・地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に解決しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A編第2章 青年期の自立と家族・家庭（A） 【知識及び技能】 青年期の課題である自立や男女平等と協学や多様な性のあり方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の課題である自立や男女平等と協学や多様な性のあり方について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の課題である自立や男女平等と協学や多様な性についての課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 ・ジェンダーゲーム ・男らしさと女らしさ ・性別役割分担 教材 等 ・教科書 ・プリント ・ICT	【知識・技能】 ・青年期の課題である自立や男女平等と協学や多様な性のあり方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・青年期の課題である自立や男女平等と協学や多様な性のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業を休まず、授業に必要な用具を準備している。 ・青年期の課題である自立や男女平等と協学や多様な性についての課題を主体的に研究、解決しようとしている。	○	○	○	2
	Well-beingマップ/Well-being人生すごろく SDGsと家庭科のつながりを考えよう 【知識及び技能】 SDGsがこれから学ぶ家庭科の内容すべてとかがわっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 SDGsの17の目標を達成するために自分たちができる事を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGsの17の目標を達成するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・自分にとってのWell-beingとは ・SDGsとは ・SDGsの17の目標 教材 等 ・教科書 ・プリント ・ICT ・視聴覚教材DVD	【知識・技能】 ・SDGsがこれから学ぶ家庭科の内容すべてとかがわっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分にとっての「ウェルビーイング」について考えている。 ・SDGsの17の目標を達成するために自分たちができる事を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家庭総合の学習内容を概観し、学習の見通しをもとうとしている。 ・SDGsの17の目標を達成するための課題を主体的に研究、解決しようとしている。	○	○	○	1
	A編第1章 生涯の生活設計1（A） 【知識及び技能】 人生には多くのステージがあること、自分自身で選択していく必要があると理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人生の目標と計画の例を提示し、自分たちなりに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージごとの課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・生活設計とは ・各ライフステージの特徴 教材 等 ・教科書 ・プリント ・ICT	【知識及び技能】 ・自分たちはライフステージにおける青年期にすることに気づき、人生100年時代をどう生きるかを考えている。 ・私たちは生涯発達し続ける存在であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人生の目標と計画の例を提示し、自分たちなりに表現している。 ・これから起こる人生のライフイベントを想定し、目標をたて、そのための意思決定について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ライフステージごとの課題を主体的に解決しようとする態度を養おうとしている。	○	○	○	1
	A編第2章 青年期の自立と家族・家庭（A） 【知識及び技能】 ・18歳（成人）の権利と責任について理解する。 ・法律で規定された家族の権利や義務について理解する。 ・現在の家族を取り巻く状況（少人数化・多様化、結婚以外の生き方、家族関係の変化）について理解する。 ・人生や家庭生活で困ったときの相談先について理解する。 ・家庭生活を支える職業労働と家事労働の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年期とはどのような時期なのかを知り、青年期に必要な自立について考える。 ・男女共同参画社会について、諸外国と比較しながら、実現のためにできることを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・五つの自立 ・家族を築くこと ・現在の家族を取り巻く状況 ・男女共同参画社会 ・これからの家族と社会 教材 等 ・教科書・プリント・ICT ・ジェンダーカード・マグネット	【知識・技能】 ・18歳（成人）の権利と責任について理解している。 ・法律で規定された家族の権利や義務について理解している。 ・現在の家族を取り巻く状況（少人数化・多様化、結婚以外の生き方、家族関係の変化）について理解している。 ・人生や家庭生活で困ったときの相談先について理解している。 ・家庭生活を支える職業労働と家事労働の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・青年期とはどのような時期なのかを知り、青年期に必要な自立について考えている。 ・男女共同参画社会について、諸外国と比較しながら、実現のためにできることを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業を休まず、授業準備している。 ・他者と協働し良好な人間関係を構築している。	○	○	○	8
2 学 期	B編第2章 衣生活と健康（B） 【知識及び技能】 ・人間の生活と衣服の関わり、衣服の主な機能について理解する。 ・衣服や日常の衣生活に関心をもち、生活に生かすことができるようになる。 ・基本的な被服製作の技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ライフステージ・気候・TPOに合わせた衣服を選択できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ライフステージ・気候・TPOに合わせた衣服を選択しようとする態度を養う。 ・私たちの衣生活が環境に与える影響を考え、持続可能な衣生活の課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・協働し課題解決に取り組むグループワークを含め、実践的・体験的取り組みを行う。 ・衣服製作 ・作品発表会 教材 等 ・教科書 ・プリント ・裁縫道具 ・ミシン ・アイロン・アイロン台 ・生地・糸 ・一人1台端末の活用 調べ学習、レポート作成、発表資料作成などで活用する。	B編第2章 衣生活と健康 【知識・技能】 ・人間の生活と衣服の関わり、衣服の主な機能について理解している。 ・衣服や日常の衣生活に関心をもち、生活に生かしている。 ・基本的な被服製作の技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ライフステージ・気候・TPOに合わせた衣服を選択している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業を休まず、授業に必要な用具を準備している。 ・ライフステージ・気候・TPOに合わせた衣服を選択しようとしている。 ・私たちの衣生活が環境に与える影響を考え、持続可能な衣生活の課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	26
	A編第3章 子どもの生活と保育（A） 【知識及び技能】 ・乳幼児期は人の一生において重要な時期であることを理解する。 ・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義、生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。 ・親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さを理解する。 ・育児休業や子育て支援制度を理解する。	指導事項 ・身体の仕組みと妊娠 ・妊娠と母体の健康 ・乳幼児の身体発達 ・乳幼児の精神の発達 ・乳幼児の全面的発達 ・児童虐待 ・少子化と育児休業・子育て支援制度	【知識・技能】 ・乳幼児期は人の一生において重要な時期であることを理解している。 ・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義、生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解している。 ・親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さを理解している。 ・育児休業や子育て支援制度を理解している。				

3 学 期	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義、生活習慣・食事・健康と安全の課題を多面的・多角的に考察し、表現する。 親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さに着目し、多面的・多角的に考察し、表現する。 育児休業や子育て支援制度などの課題を多面的・多角的に考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期は人の一生において重要な時期であることを理解する。課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 	<p>教材 等</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 プリント ICT 視聴覚教材DVD <p>一人1台端末の活用</p> <p>調べ学習、レポート作成、発表資料作成などで活用する。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義、生活習慣・食事・健康と安全の課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 育児休業や子育て支援制度などの課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業を休まず、授業準備している。 乳幼児期は人の一生において重要な時期であることを理解している。課題を主体的に研究・解決しようとしている。 	○	○	○	18
	<p>A編 第4章 高齢期の生活と福祉 (A)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の心身の特徴、高齢者福祉の現状と課題、制度について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と協働し良好な人間関係を構築しようとする。 	<p>指導事項</p> <p>実践的・体験的な学習活動を充実するとともに、生活の中から問題を見だしその課題を解決する過程を重視する。</p> <p>協働学習を多く取り入れ、他者理解、他己評価による自己理解や自己表現の伸長を促す。</p> <p>教材</p> <p>生徒の学力に即した教員作成プリントや、ゲーム性のある教材も取り入れる。</p> <p>一人1台端末の活用</p> <p>調べ学習、レポート作成、発表資料作成などで活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や高齢期について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者を支えるための、家族・地域・社会の役割を考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業を休まず、授業準備している。 他者と協働し良好な人間関係を構築している。 	○	○	○	14
				○	○	○	合計